



2017年10月27日

各 位

会社名 エバラ食品工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮崎 遵
 (コード番号: 2819 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 高井 孝佳
 (TEL. 045-226-0107)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2017年5月10日に公表した2018年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2018年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正 (2017年4月1日～2017年9月30日)

(1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,759	1,032	1,076	664	63.80
今回修正予想 (B)	25,617	659	720	451	43.33
増減額 (B-A)	△1,142	△372	△356	△213	—
増減率 (%)	△4.3	△36.1	△33.1	△32.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2017年3月期第2四半期)	26,275	1,095	1,091	685	65.85

(2) 個別業績予想

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,346	1,010	620	59.58
今回修正予想 (B)	21,925	527	345	33.18
増減額 (B-A)	△1,421	△483	△274	—
増減率 (%)	△6.1	△47.8	△44.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2017年3月期第2四半期)	22,836	1,023	670	64.39

2. 2018年3月期通期業績予想数値の修正

(2017年4月1日～2018年3月31日)

(1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,200	1,830	1,900	1,170	112.41
今回修正予想 (B)	50,557	1,306	1,392	871	83.77
増減額 (B-A)	△1,642	△523	△507	△298	—
増減率 (%)	△3.1	△28.6	△26.7	△25.5	—
(ご参考)前期実績 (2017年3月期)	51,365	1,864	1,923	1,179	113.35

(2) 個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,075	1,720	1,055	101.38
今回修正予想 (B)	43,153	1,056	660	63.41
増減額 (B-A)	△1,921	△663	△395	—
増減率 (%)	△4.3	△38.6	△37.4	—
(ご参考)前期実績 (2017年3月期)	44,386	1,738	1,085	104.31

3. 修正の理由 (連結・個別)

(1) 2018年3月期第2四半期累計期間の業績予想

当社グループが推進している経営ビジョン「Evolution 60」における中長期的な収益性向上に向けた最重要施策として、家庭用既存主力商品である『黄金の味』の大幅リニューアルを7月10日に実施いたしました。リニューアルに際しては、リニューアル前後の商品供給を最優先事項として取り組み、販売体制の整備を進めてまいりました。あわせて、リニューアル品の新価値訴求のため、テレビCM等のプロモーションを強化しております。しかし、店頭における商品の切り替えに当初想定以上の期間を要し、それに伴いリニューアル品の出荷ペースが当初計画より低い水準で推移したことから、『黄金の味』が前年同期実績を下回る見込みとなり、売上高は前回発表した予想を下回る見込みとなりました。利益面につきましても、売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回発表した予想を下回る見込みとなりました。

(2) 2018年3月期通期の業績予想

『黄金の味』の旧品在庫による影響が減少傾向にあることに加え、リニューアルによる中長期的な収益基盤の確保に向けた効果も表れつつありますが、第2四半期累計期間の進捗等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表した予想を下回る見込みです。

(注意事項)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上